

堀内 朗 氏 講演会

演題「イグ・ノーベル賞と大腸がん」

主催 薫ヶ丘クロスペンアカデミー
伊那北高等学校同窓会
伊那北高等学校PTA
共催 伊那北高等学校
日時 平成31年4月13日(土)
午前10時～12時
場所 伊那文化会館



講演内容

2018年イグ・ノーベル賞医学教育賞を受賞しました。受賞理由は、「座位で行う自己大腸内視鏡検査 - 自ら試してわかった教訓」として、自らが座ったままの姿勢で大腸内視鏡検査を受ける方法を研究した成果が評価されました。2018年9月13日のハーバード大学サンダース講堂で行なった受賞スピーチ、15日のマサチューセッツ工科大学で行なったイグ・インフォーマルレクチャー、および9月22日に東京ドームで開催されたイグ・ノーベル賞の世界展の様子をご紹介します。イグ・インフォーマルレクチャーでお話した内容「大腸癌死ゼロへの道」について、増加している日本の大腸癌に対して苦痛のない大腸内視検査および大腸ポリープを全摘除するクリーンコロンの有用性をご説明します。現在、座位で行う大腸内視鏡検査は行なっていませんが、駒ヶ根方式と呼ばれる①当日朝食をとらずに10時までに受診すれば予約なしに上下部消化管内視鏡検査(胃カメラ検査・大腸カメラ検査)を受けられる、②鎮静薬を使用して楽に内視鏡検査を受けて車で帰宅できる、③大腸ポリープがあった場合にその検査の最中に摘除してもらえる検査方式を導入して胃癌・大腸癌で死なないことを目的に内視鏡検査の敷居を低くする活動を展開していますのでご紹介します。

堀内 朗 氏

昭和伊南総合病院 消化器病センター長 内科診療部長

経歴 1985年信州大学医学部卒業

信州大学第二内科にて臨床研修後、薬理学教室助手

1990年～1992年間米国バージニア大学医学部病理学教室に留学

薬理学教室講師(学内)を経て、第二内科学教室入局

諏訪赤十字病院、波田総合病院に勤務後、第二内科にて主に消化器内視鏡に従事

1999年4月から昭和伊南総合病院に勤務。

専門領域 消化器病学、消化器内視鏡学

学会活動

日本内科学会 総合内科専門医、指導医

日本消化器病学会 専門医、指導医、学会評議員

日本消化器内視鏡学会 専門医、指導医、学会評議員

日本高齢消化器病学会 評議員

PEG在宅医療学会 認定胃瘻教育者、代議員

NPO法人PDN(Patient Doctors Network) 理事

American College of Gastroenterology (ACG), Fellow (FACG)

American Gastroenterological Association (AGA), Member

American Society for Gastrointestinal Endoscopy (ASGE), Member

(2018年11月現在)

保護者、同窓生、一般の皆様のご参加を歓迎いたします